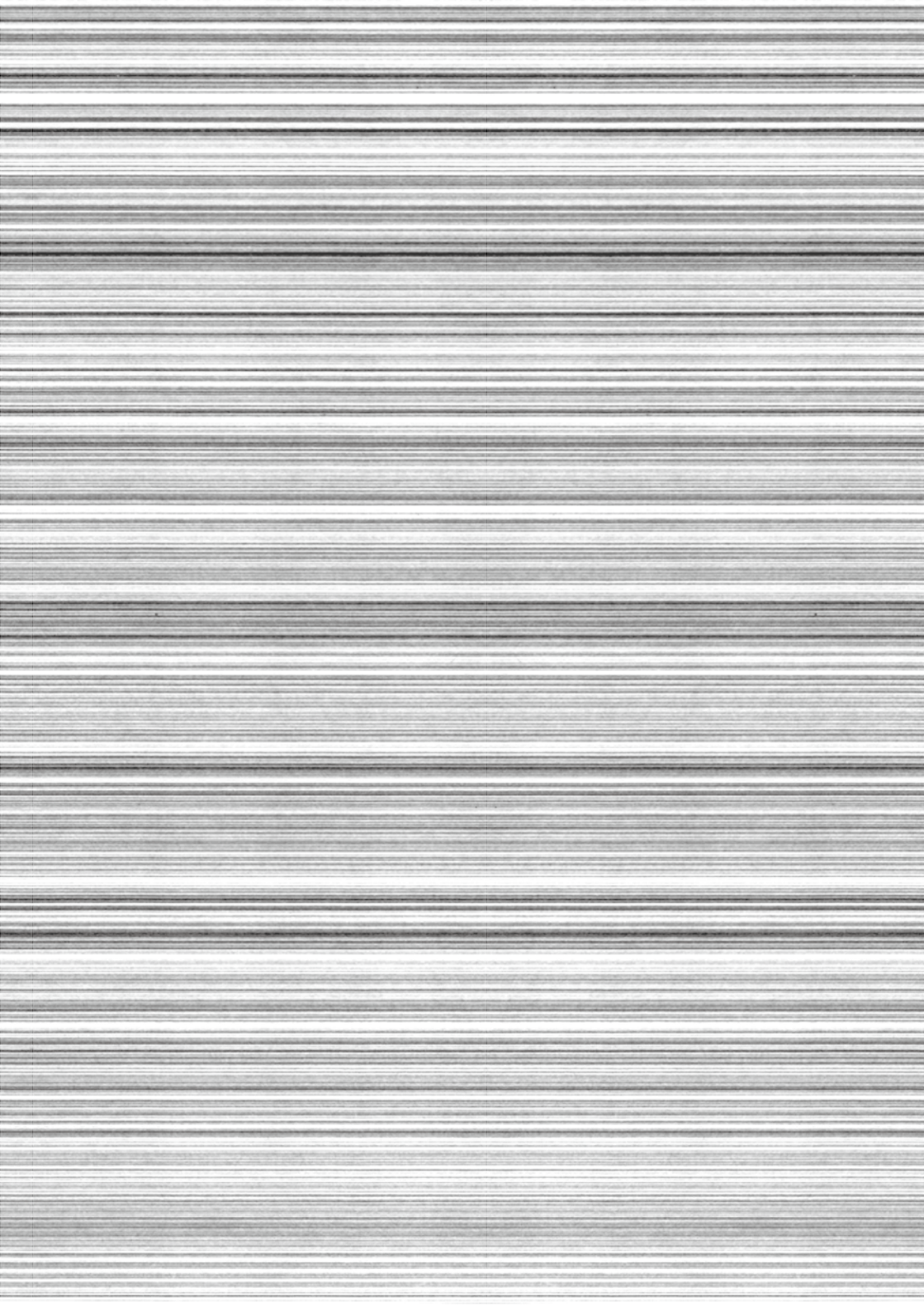


'GREAT TRIP OF LEAFING THROUGH BOOK' SEPARATE VOL.
LEAFING THROUGH
, ONLOOKER

NOBUYUKI IZUMI
PIANO FIRE PUBLISHING 2008



日本の漫画のめくり方 4

第一部 読者の《目》が漫画に与える力 5

視覚メディアとしての《漫画》

第二部 視線の力学 アングル編 10

立体的に注がれる視線 / 仮想アングルが生じる時 / アングルの可動パターン / 一次～三次のアングル / アングルが読者に何を与えるのか? / アングル揺動の4要因 / 『視線誘導』と『視線力学』の連関

第三部 視線の力学 ベクトル編 25

コマの中に与えられるベクトル / ベクトルに絡む様々な効果

第四部 漫画の文法 30

左右で描き分けられる「立場」 / 赤松健『魔法先生ネギま!』の例 / 漫画の会話は「主導権の奪い合い」 / 島本和彦『炎の転校生』の例 / 『漫画の文法』と『言葉の文法』 / 主語と客語の錯綜 / 漫画の文法と視線の力学 / 左右のレイアウトと会話 / イマジナリーラインと『切り返し』

コラム 『アレクサンドロス』の東征と左右のベクトル 50

世界地図 / ドラマに忠じて流れるベクトル / コマの形状と、ドラマのベクトル感 / 左右の位置関係と、メディアの文化差 / 他のアニメーション作家たち / 国際化の中で

ボーナストラック 62

松井優征『魔人探偵脳噛ネウロ』 / 村上よしゆき『新約「巨人の星」花形』 / 吉住渉『スパイシーピンク』 / 宇佐悠一郎『放課後ウインド・オーケストラ』 / なでしこを合わせようとするのか?

目次 3

奥付 72

日本の漫画のめくり方―視線の力学と漫画の文法―

これから始まる文書は、『ユリイカ』（青土社）誌上で三度に渡って掲載された筆者の記事（当時の筆名はイズミノウユキ）から漫画理論の基礎原理にあたる記述のみを抜き出して、かなりの加筆修正と共に無関係な部分は削り、一連の記事として再構成しなおしたものである。

元となった記事は以下の三本。

- ・「視線力学の基礎 読者のへ目くが漫画に与える力」……………「特集＊マンガ批評の最前線」（二〇〇六年一月号）収録
- ・「漫画文法を手に入れたアニメーター―漫画／アニメにおける視覚表現の比較」……………「特集＊安彦良和」（二〇〇七年九月号）収録
- ・「ヘブン・ノウス・ハウ・ザット・ビジョン・イズ へねじれる視線くくとへ神の視点くの可能性」……………「総特集＊荒木飛呂彦」（二〇〇七年十一月臨時増刊号）収録